

福祉サービス第三者評価（総括表）

① 第三者評価機関名

株式会社 アミュレット

②施設・事業所情報

名称：守谷市障がい者福祉センター	種別：生活介護
代表者氏名：藤沢 正樹	定員（利用人数）：15 名
所在地：茨城県守谷市板戸井 1 9 7 7 番地の 2	
TEL：0297-45-9801	ホームページ： http://www.kings-garden.or.jp/publics/index/40/0/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 20 年 4 月 1 日（指定管理許可日）	
経営法人・設置法人（法人名等）：守谷市（社会福祉法人 日本キングス・ガーデン）	
職員数	常勤職員：10 名 非常勤職員：7 名
専門職員	介護福祉士 8 名 サービス管理責任者 1 名
	作業・理学療法士 2 名 看護職員 1 名
施設・設備 の 概要	（居室数） 6 室 （設備等）車いす用トイレ 3 個
	食堂 2 室、事務室 3 室 スロープ

③理念・基本方針

- 1) 仕える （日々の祈りを大切に、喜んでご利用者に仕える）
- 2) 利用者中心 （利用者中心のケアを行い、自立した生活が出来るように支援する）
- 3) 尊敬 （利用者の自由と尊厳を守り、ありのままにその人を受け入れ心に寄り添う）
- 4) 連携 （利用者の安全と健康を支える為、職種間の連携を密にする）
- 5) 専門性 （誰もが安心して生活できるように、専門性をもって地域社会に貢献する）

④施設・事業所の特徴的な取組

守谷市からの指定管理事業者として、生活介護、就労継続支援 B 型、放課後等デイサービスと、多くのサービスを展開し、年齢は小学校 1 年生から高齢の方まで受け入れられるように体制を整え、リハビリテーションが受けられるようにもしている。

相談支援事業では、指定特定相談、障害児相談支援を置き、地域に住む多くの方を幅広く支援ができるように対応している。

地域との繋がりを重要とし、「ひこうせんまつり」として、地域交流のセンター主催のお祭りを実施している。利用者の ADL 状況を観察し、利用者のできること、希望することを大切にしながら、本人が意欲的に取り組める活動班で活動して頂いている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6 年 5 月 17 日（契約日）～ 令和 6 年 10 月 11 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	5 回（令和 6 年度）

評価実施期間	令和 3 年 6 月 3 日（契約日）～ 令和 3 年 9 月 15 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4 回（令和 3 年度）

評価実施期間	令和 元 年 6 月 17 日（契約日）～ 令和 元 年 10 月 28 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（平成 元 年度）

評価実施期間	平成 28 年 6 月 2 日（契約日）～ 平成 28 年 9 月 21 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成 28 年度）

評価実施期間	平成 26 年 3 月 24 日（契約日）～ 平成 26 年 5 月 29 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回

◇特に良いと思う点

・ひこうせん祭りの再開や市内各種の行事等への参加により、利用者の社会参加を積極的に促しています

コロナ禍で止まっていた地域とのかかわりについては、前年度、事業所祭りである、ひこうせん祭りを再開することができ、地域の方をお呼びして利用者と交流を図ることができました。また市内のショッピングセンターで開催されたお祭りにも利用者も参加して模擬店を出店して来場者と交流できる機会も設けています。さらに、高速道路のサービスエリア内に設けられた花壇の整備も利用者と一緒に進めています。職員以外の方々との交流や社会参加を積極的に推し進めて、利用者の活動の幅を広げています。

・職員の専門性をより高めていくために、資格取得に向けた環境を充実させています

資格取得のバックアップに力を入れていて、介護福祉士、実践者、介護職員初任者研修を内部で開設して資格取得を目指すことができる環境を整えて職員の育成につなげています。介護福祉士取得者も年々増えており、職員の専門性が高まっています。また事業所内の各委員会が中心となり、全職員を対象に必要な研修を毎月行い、知識等が習得できる環境も整えています。事業所内の研修を充実させて職員の専門性を高めて、より質の高い支援が提供できるように取り組んでいます。

・市のモニタリング調査や第三者評価、年 3 回の運営委員会などを通して外部の目を入れて事業所の透明性を高めています

ホームページにおいて理念、運営方針等の公開しているほか、3年に一度第三者評価の受審、市の担当者、第三者委員、利用者家族、民生委員、法人役員等が参加する運営委員会を年 3 回開催し、事業報告を定期的に行うことで事業所の透明性を高めています。さらに、年に一度の法人内の内部監査において法人監事である公認会計士の監査、市の指定管理者のモニタリングについても定期的に受け、自己評価票を市へ定期的に提出して必要な助言を受け適正かつ透明性の高い適正な経営、運営を進めています。

◇特に改善したいと思う点

・利用者へのアセスメントの見直しの基準を明確にして、定期的に見直していけるとよいと思います

個別支援計画の策定にあたっては、利用者本人、家族との面談を通じて現状や課題等を抽出し、職員及び専門職からの意見も総合的に踏まえて個別支援計画書を作成しています。またフェイスシートやアセスメントシートを活用して利用者の現状や課題についても抽出していますが、アセスメントの見直しを現在課題としています。フェイスシートを含めたアセスメントの見直しの基準を明確にして、アセスメントについても定期的に見直していけるとよいと思います。

・ 今後は外部への研修への参加も高めていきたいと考えており、外部研修への参加を通して知識や技術がより高まることを期待します

資格取得に向けたバックアップや各委員会が中心となった研修会など事業所内での研修については充実しています。また外部の研修にも職員を計画的に派遣していくために、事業計画書内に職員の研修予定表を作成しています。コロナ禍の影響もあるため、外部研修への派遣について少ないことを課題としています。今後は外部研修への参加を増やしてより知識や技術を高めていきたいと考えています。外部で開かれる研修も多くなっていることから、計画的に派遣し、より職員の専門性やスキル等が高まることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回5回目の第三者評価を受審し、高い評価を受けることができ、ありがとうございました。

昨年度は5年ぶりに、地域との交流のためのイベント「ひこうせんまつり」を開催することができました。

少しずつではありますが、コロナ禍前の状況に戻りつつある中で、より、原点を見つめなおし、ご利用者中心の支援ができるようにしていきたいと思います。

各種研修の受講、各委員会での研修の実施や対応の検討などを通して、質の高いサービス提供ができるように、今後も進んでいきたいと思います。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）